

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2000-343864  
(P2000-343864A)

(43)公開日 平成12年12月12日 (2000.12.12)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

B 42 F 1/02  
9/00

識別記号

F I

B 42 F 1/02  
9/00

テ-マコト<sup>8</sup> (参考)  
K 2 C 0 1 7  
J

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-161062

(22)出願日 平成11年6月8日(1999.6.8)

(71)出願人 390007526

上田 耕作

大阪府池田市八王寺1丁目8番102-701号

(72)発明者 上田 耕作

大阪府池田市八王寺1丁目8番102-701号

(74)代理人 100079625

弁理士 中島 正

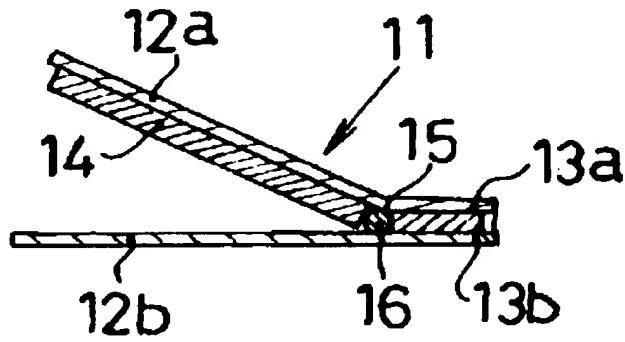
Fターム(参考) 20017 BA15 DA03

(54)【発明の名称】 クリップ

(57)【要約】

【課題】 本発明は、極めて簡単な構造でもってコンパクトに構成し、しかも、非常に見映えがよいのみならず、常に書類などを確実に挟持することが出来るクリップを提供するものである。

【解決手段】 一端部に操作用摘み部13a・13b・23a・23bを有する一对の磁石14付き挟持片12a・22aと着磁性挟持片12b・22bとがヒンジ16を介して開閉作動自在に対設され、該挟持片どうしの磁着力により付勢して被挟持物を挟持せしめるべく構成されている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】一端部に操作用摘み部を有する一对の磁石付き挟持片と着磁性挟持片とがヒンジを介して開閉作動自在に対設され、該挟持片どうしの磁着力により付勢して被挟持物を挟持せしめるべく構成されてなることを特徴とする、クリップ。

【請求項2】挟持片の操作用摘み部が磁石を介して磁着自在とされてなることを特徴とする、請求項1記載のクリップ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、書類などを挟むさいに使用する簡易なクリップに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、例えば、書類などを挟むさいに使用するクリップとしては、弾力性のある金属板を略二等辺三角形状に折曲してクリップ本体が形成され、該クリップ本体の両自由端に各々管状部が巻回形成されると共に、該各管状部に略U字形状とされた操作摘み片の両自由端が回動自在に挿着されたものが知られている（実公昭39-7526号公報等参照）。そして、上述の如く構成されたクリップは、各操作摘み片を摘みつつクリップ本体の弾性力に抗してクリップ本体を外側方に拡開作動せしめ、クリップ本体内に所要の書類を挟んだのち、クリップ本体の弾性力により挿圧して挟持せしめるものである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述の如く構成された従来例は、クリップ本体の弾性力により書類を強固に挟持せしめることが出来る反面、構造が複雑でその製作が非常に面倒であるのみならず、操作摘み片が常に外方に突出して非常に見苦しいものである。

【0004】本発明は、かかる従来例の問題点を解決し、極めて簡単な構造でもってコンパクトに構成され、しかも、非常に見映えがよいのみならず、常に書類などを確実に挟持することが出来るクリップを提供しようとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】即ち、本発明は、一端部に操作用摘み部を有する一对の磁石付き挟持片と着磁性挟持片とがヒンジを介して開閉作動自在に対設され、該挟持片どうしの磁着力により付勢して被挟持物を挟持せしめるべく構成されてなることを特徴とする、クリップを要旨とするものである。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を図面に示す一実施例に基づいて説明する。図1乃至図3は本発明の第1の実施例を示すもので、同図中、11はクリップ、12a・12bは該クリップ11を構成する上下一対の挟持片で、該各挟持片12a・12bは各々着

磁性を有する磁性金属板により略方形状に形成されている。13aは一方の挟持片12aの一端部を外側方に折曲して形成された操作用摘み部、14は該摘み部13a内面から挟持片12a内面にかけて固定された板状の等方性磁石、15は挟持片12aと摘み部13aとの境界部位に沿って該磁石14に形成された嵌合溝である。13bは前記摘み部13aに対応すべく他方の挟持片12bに同一レベルでもって延設された摘み部、16は該摘み部13bと挟持片12bとの境界部位に沿ってその内面に固定されたヒンジで、該ヒンジ16は前記の嵌合溝15に回動自在に嵌合されている。

【0007】そして、上述の如く構成された第1実施例は、ヒンジ16を回動支点として挟持片12a・12bどうしの着磁力により付勢せしめつつ開閉作動せしめて書類など所要の被挟持物を挟持せしめる。即ち、まず、ヒンジ16を回動支点として摘み部13a・13bを相対する方向に押圧せしめることにより挟持片12a・12bを外側方に拡開作動せしめると共に、磁石14を介して摘み部13a・13bどうしを磁着せしめて拡開保持せしめる（図2参照）。しかるのち、挟持片12a・12b間に被挟持物を挟み、外方より挟持片12a・12bを相対する方向に押圧せしめることによりヒンジ16を回動支点として閉作動せしめ、挟持片12a・12bどうしの磁着力により付勢して挟持せしめるものである（図3参照）。このさい、挟持片12a・12bはその磁着力により付勢して挟持せしめるものであるから、特別な付勢バネ材を必要とすることなく簡単な構造でもってコンパクトに構成することが出来るのみならず、外観上の見映えが非常によく、しかも被挟持物を確実に挟持せしめることが出来る。

【0008】図4乃至図6は本発明の第2の実施例を示すもので、クリップ21を構成する上下一対の挟持片22a・22bが各々合成樹脂により肉厚な略方形状に形成されると共に、一方の挟持片22bおよび摘み部23b内面に等方性磁石27を固定せしめて着磁性を付与せしめた点、および摘み部23a・23bを切欠いて互いに相反する方向に拡開せしめた点が前記第1実施例と相違し、他の部分は同一であり、同一符号は同一部分を示す。

【0009】図7乃至図9は本発明の第3の実施例を示すもので、クリップ31を構成する上下一対の挟持片22a・22bの両端部内面に各々嵌合溝35a・35bが対向状に形成されると共に、該嵌合溝35a・35bに突片38付きヒンジ16が着脱自在に磁着された点が前記第2の実施例と相違し、他の部分は同一であり、同一符号は同一部分を示す。

【0010】なお、上記実施例に示すクリップ11・21・31は、書類やこれに類したものの挟持用として各々単独で使用することが出来るのみならず、例えば、第1実施例に示すクリップ11を所要の基板A上に取付け

てバインダー用クリップとして使用することも出来るものである。

#### 【0011】

【発明の効果】本発明によれば以上の次第で、一端部に操作用摘み部を有する一对の磁石付き挟持片と着磁性挟持片とがヒンジを介して開閉作動自在に対設され、該挟持片どうしの磁着力により付勢して被挟持物を挟持せしめるべく構成されているから、従来例のように特別な付勢バネ材を必要とすることなく簡単な構造でもって極めてコンパクトに構成することが出来るのみならず、外観上の見映えが非常によく、しかも、常に被挟持物を確実に挟持せしめることが出来るものである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例を示す分解斜視図である。

【図2】第1実施例の拡開状態を示す縦断面図である。

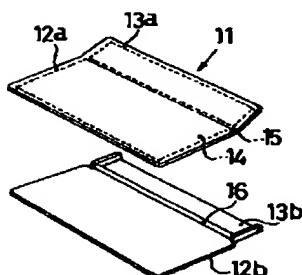
【図3】第1実施例の挟持状態を示す縦断面図である。

【図4】本発明の第2実施例を示す分解斜視図である。  
 【図5】第2実施例の拡開状態を示す縦断面図である。  
 【図6】第2実施例の挟持状態を示す縦断面図である。  
 【図7】本発明の第3実施例を示す分解斜視図である。  
 【図8】第3実施例の拡開状態を示す縦断面図である。  
 【図9】第3実施例の挟持状態を示す縦断面図である。  
 【図10】本発明の第1実施例をバインダーに適用せしめた状態を示す分解斜視図である。

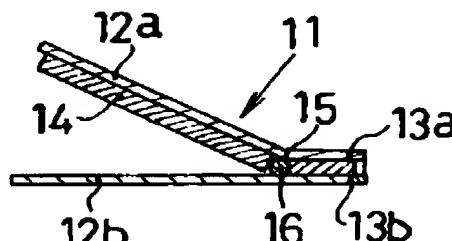
#### 【符号の説明】

10	11・21・31	クリップ
	12a・12b・22a・22b	挟持片
	13a・13b・23a・23b	摘み部
	14	磁石
	16	ヒンジ
	27	磁石

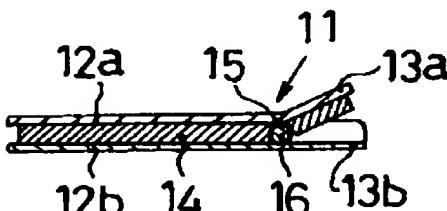
【図1】



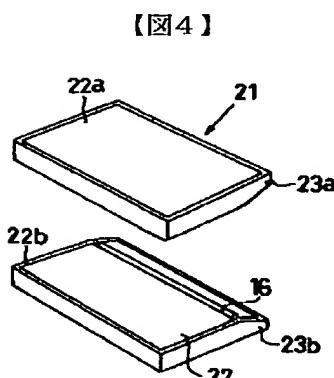
【図2】



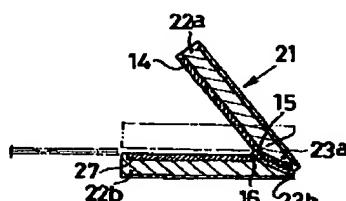
【図3】



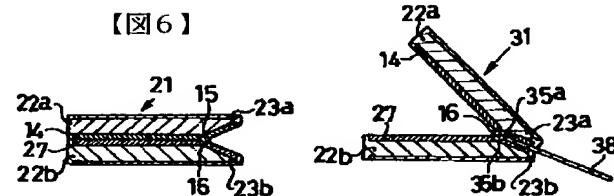
【図8】



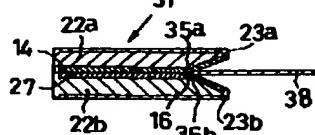
【図5】



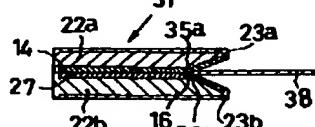
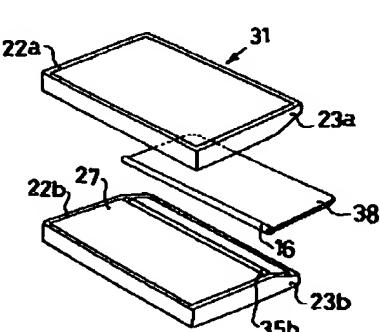
【図6】



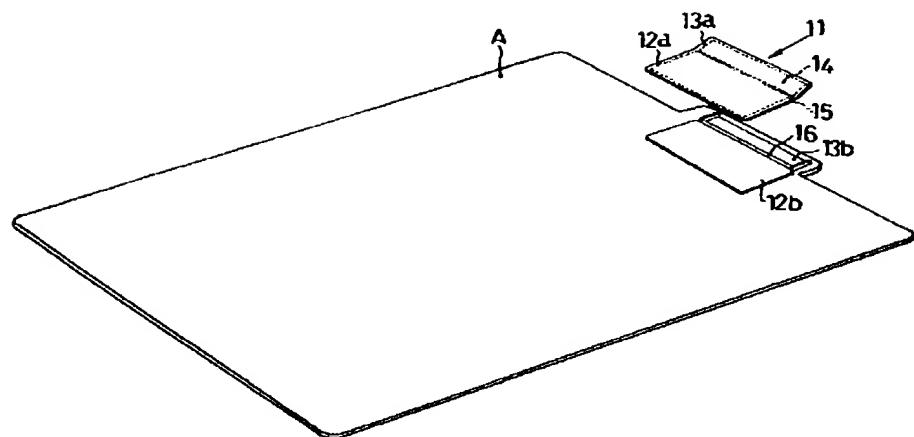
【図9】



【図7】



【図10】



DERWENT-ACC-NO: 2001-118815  
DERWENT-WEEK: 200113  
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Clip for documents, has nipping plate with magnet, hinged to polarized nipping plate, with plates having individual knobs, to hold documents by magnetic force

PATENT-ASSIGNEE: UEDA K[UEDAI]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0161062 (June 8, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2000343864	December 12, 2000	N/A	004	B42F 001/02
A				

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2000343864A	N/A	1999JP-0161062	June 8, 1999

INT-CL (IPC): B42F001/02; B42F009/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000343864A

BASIC-ABSTRACT: NOVELTY - A nipping plate (12a) with a magnet (14) is coupled to polarized nipping plate (12b) through a hinge (16) provided at one end, so as to perform flexible opening-closing operation. The nipping plates have knobs (13a,13b) individually. The nipping plates are energized by magnetic force to grip the documents.

USE - For documents.

ADVANTAGE - Eliminates need for spring for energizing, by using magnet between nipping plates. Has simple, compact structure with improved appearance. Holds document reliably by magnetic force.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the sectional view of clip.

Nipping plates 12a,12b

Knobs 13a,13b

Magnet 14

Hinge 16

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/10

TITLE-TERMS:

CLIP DOCUMENT NIP PLATE MAGNET HINGE NIP PLATE PLATE INDIVIDUAL KNOB HOLD  
DOCUMENT MAGNETIC FORCE

DERWENT-CLASS: P76

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-088265